

船橋市一般廃棄物処理基本計画 行動計画【令和6年度実績】

施策番号 基本方針		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
施策		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
取り組みの内容		分かりやすい情報発信	分かりやすい情報発信	分かりやすい情報発信	多様な媒体での情報発信	ごみの減量・資源化につながる環境学習の推進	ごみの減量・資源化につながる環境学習の推進	子ども向け環境学習の充実	子ども向け環境学習の充実	若年層への啓発	ごみ施設見学会の開催
具体策		家庭ごみの出し方・リサちゃんだより	ごみ分別アプリさんあ〜る	リサちゃんだよりプラス	HP・デジタルサイネージ・SNS	ごみ出し説明会 出前講座	ごみ出し説明会 出前講座	授業補助	子ども向けの啓発	中高生 大学生への啓発	施設見学会の開催
担当課		クリーン推進課	クリーン推進課	資源循環課	クリーン推進課	クリーン推進課	資源循環課	クリーン推進課 資源循環課	資源循環課	資源循環課	資源循環課
令和6年度	計画	発行部数：270,000部 (配布：令和7年2月～)	・新規ダウンロード数：8,400件	発行部数 ・7月号：2,300部 ・10月号：2,300部 ・1月号：2,300部	・多様な広報媒体を活用した環境関連情報を提供する。 (広報ふなばし、環境新聞「エコふなばし」、市ホームページ、スマートフォン向けごみ分別アプリ「さんあ〜る」等)	ごみの出し方説明会：45回 ≪内訳≫ ごみ減量啓発バス：16 出前講座：9 授業補助：20	・出前講座：6回	・授業補助：20校 (クリーン推進課) ・授業補助：10校 (資源循環課)	・夏休み施設見学会の開催	・大学生向けにごみ分別の啓発を実施する。 ・中高生向けにごみ分別の啓発をする。	・北部清掃工場：100団体 2500人 ・南部清掃工場：35団体 1000人 ・西浦資源リサイクル施設：10団体 100人
	内容	・より多くの市民にごみの排出方法やごみに関する情報を周知できる冊子を発行する。 ・ごみの分別や出し方について、より見やすくなるよう紙面の構成等を見直すとともに、飛散事故等情報を提供し飛散防止方法を掲載する。 ・ごみ分別アプリ「さんあ〜る」での情報確認や市ホームページからダウンロードができることを周知し、ペーパーレス化を図る。 ・不動産業者や管理会社がごみ収集ステーションの設置届の提出時に「家庭ごみの出し方・リサちゃんだより」を配布し、新しい市民の方に周知する。	・ごみ分別の検索や環境に関する情報発信などの機能を持ったごみ分別アプリ「さんあ〜る」の周知をホームページや広報・X・デジタルサイネージ等様々な媒体を活用するほか、ホームページからの問い合わせの回答にも掲載し、新規ダウンロード数の増加に努める。	・ごみ減量及び資源化の啓発紙として、市民に必要な情報を掲載し、発行する。 ・市ホームページ、SNS、ごみ分別アプリ「さんあ〜る」等を活用して周知を図る。	・広報ふなばし、環境新聞「エコふなばし」、市ホームページ、ごみ分別アプリ「さんあ〜る」、家庭ごみの出し方・リサちゃんだより、リサちゃんだよりプラス、JR船橋駅前電光掲示板に加え、デジタルサイネージや市公式Xなど活用して情報発信を行う。	・クリーン推進課の環境指導員による「ごみの出し方説明会」(ごみ減量啓発バスと出前講座)を開催する。 ・クリーン船橋530推進員と連携し、事業の周知を図る。 ・ごみの減量と資源化についてパワポイントなどを利用しながらわかりやすく説明会を開催する。 ※令和5年度までは、施策番号7及び14を含めた回数としていたが、令和6年度から施策番号14は数値目標の考え方を修正したため、当該計画数から除外した。	・出前講座「ごみの減量と資源化」を実施し、ごみの減量方法等を周知啓発する。	・市立小学校に職員を派遣し、環境学習の一環として、ごみ収集体験の手伝いや船橋市のごみ事情などについて説明を行い、ごみの減量及び資源化の啓発を図る。 ・小学校4年生の社会科の授業補助として、塵芥収集車を活用し、ごみの分別等を啓発し、1人でも多くの児童に受講していただくよう、事業の周知に努める。 ・小学4年生を対象に社会科の授業補助として、ごみ処理の流れやごみ減量への取り組みを啓発していく。	・夏休みに南部清掃工場で施設見学会を開催する。	・大学生向けにごみ分別動画を作成し大学内で周知してもらう。 ・中高生向けにごみの分別特集号リサちゃんだよりプラスを配布し、啓発する。	・小学4年生の社会科見学や親子見学会、夜間見学ツアー、特別見学ツアーを通じて、清掃工場等の見学会を開催する。
令和6年度	実績	・発行部数：250,000部 (配布：令和7年3月～) ※発行部数が当初計画を下回ったのは、紙代の高騰のため	・新規ダウンロード数：9,818件	発行部数 ・7月号：2,300部 ・10月号：2,300部 ・1月号：2,300部	・公式X(11回)やデジタルサイネージ(4回)などを利用し、ごみの分別・資源化等に係る情報発信を行った。	ごみの出し方説明会：42回 ≪内訳≫ ごみ減量啓発バス：16回 出前講座：2回 授業補助：24回	実施数 ・2回	実施数 ・授業補助：24校 (クリーン推進課) ・授業補助：15校 (資源循環課)	・夏休み施設見学会の開催 参加人数実績：子ども21人、大人32人	・大学生向けにごみ分別動画を作成した。 ・中高生向けにリサちゃんだよりプラスvol.21を作成した。	・北部清掃工場：95団体 2232人 ・南部清掃工場：43団体 1076人 ・西浦資源リサイクル施設：11団体 242人 R7/3/1時点
	内容	・ごみの分別や出し方について、より見やすくなるよう紙面の構成等を見直した。 ・ごみ分別アプリ「さんあ〜る」での情報確認や市ホームページからダウンロードができることを周知した。 ・本冊子の配布終了後における転入者への案内等については「分別ガイド」やコピーで対応する。 ・不動産業者や管理会社については、申出があった場合に配布し周知を図る。	・広報ふなばしやふなばしCITYNEWS、市公式Xやデジタルサイネージなどを活用して周知に努めた。 ・ダウンロード数の増加を図るため、令和6年度版の家庭ごみの出し方・リサちゃんだよりの表表紙に記事を掲載した。 ・ホームページからの問い合わせの回答でも周知した。	・7月号は、資源ごみの分別に関する周知を行った。 ・10月号は食品ロス削減について特集した。 ・1月号は3Rの徹底など、ワンウェイプラスチックを減らすための取り組みを紹介した。 ・市ホームページ、SNS、ごみ分別アプリ「さんあ〜る」等を活用して周知を行った。	・広報ふなばし、環境新聞「エコふなばし」、市ホームページ、ごみ分別アプリ「さんあ〜る」、家庭ごみの出し方・リサちゃんだより、リサちゃんだよりプラスに加え、デジタルサイネージや市公式Xなど活用してごみの減量・資源化等に係る情報発信を行った。 ・JR船橋駅前電光掲示板については、故障したため情報発信ができなかった。	・クリーン推進課の環境指導員による「ごみの出し方説明会」を42回開催した。 ・クリーン船橋530推進員と連携し、事業の周知を図った。	・依頼のあった講座について、ごみ処理の流れやごみ減量への取り組みについて資料を作成し、啓発した。	・市立小学校に職員を派遣し、環境学習の一環として、ごみ収集体験の手伝いや船橋市のごみ事情などについて説明した。 (クリーン推進課) ・ごみ処理の流れやごみ減量への取り組みについて資料を作成し、啓発した。(資源循環課)	・令和6年8月23日、24日午前に、南部清掃工場見学及びペットボトル風車製作体験を開催した。	・大学生向けにごみ分別動画を作成して、市公式YouTubeにアップし、周知を行った。 ・ごみの分別特集号リサちゃんだよりプラスvol.21を作成して、市内各中学校、市立船橋高等学校に配架し、中高生向けに啓発を行った。 ・日本大学理工学部全学生対象に動画の周知を行った。	・小学4年生の社会科見学や、埠頭会の見学会、夜の施設見学会、特別施設見学会を通じて、清掃工場等の見学会を開催した。
	施策の評価 ※1～4を記入	2	1	1	1	2	4	1	1	1	1

評価	数値目標がある取り組み (数値達成率)	進捗状況
1	100%以上	1. 予定(計画) どおり進んでいる
2	80%以上100%未満	2. 概ね予定(計画) どおり進んでいる
3	60%以上80%未満	3. あまり予定(計画) どおり進んでいない
4	60%未満	4. 予定(計画) どおり進んでいない

船橋市一般廃棄物処理基本計画 行動計画【令和6年度実績】

施策番号		11	12	13	14	15	16	17	18	19
基本方針		1	1	1	1	1	1	1	1	1
施策		環境学習の推進	地域全体の環境美化の推進	地域全体の環境美化の推進	地域全体の環境美化の推進	地域全体の環境美化の推進	優良事業者の育成	優良事業者の育成	市民サービスの向上	市民サービスの向上
取り組みの内容		環境教育に活用できるコンテンツの充実	不法投棄防止活動の推進	不法投棄防止活動の推進	クリーン船橋530推進員の育成	地域清掃活動の推進	ごみの減量及び資源化連携事業者認定制度の充実	事業系一般廃棄物収集運搬業者の育成	ごみ出しが困難な方への支援	ごみ出しが困難な方への支援
具体策		コンテンツの作成・公開	不法投棄防止パトロールなど	不法投棄防止パトロールなど	クリーン船橋530推進員の育成	地域清掃活動の推進	ごみの減量及び資源化連携事業者認定制度の充実	事業系一般廃棄物収集運搬業者の育成	クリーンサポート収集	ふれあい収集
担当課		資源循環課	クリーン推進課	廃棄物指導課	クリーン推進課	クリーン推進課	廃棄物指導課	廃棄物指導課	クリーン推進課	資源循環課
令和6年度	計画	・食品ロスYouTube動画のPRを実施する。	・クリーン推進課職員によるパトロールは、年間90回実施を目指すとともに、クリーン船橋530推進員と連携した取り組みを検討する。	・職員による日常パトロール：245回 ・夜間休日等委託パトロール：50回	・地区別推進員研修会：5会場	・クリーン船橋530の日 参加人数：8,800人 ・船橋をきれいにする日：参加人数：8,600人	ふなR新規認定件数：5件	事業系一般廃棄物の適正処理や資源化を推進するため、事業系一般廃棄物収集運搬業者の育成を図る。	・継続してクリーンサポート収集が実施できるよう、収集体制等の見直しを検討する。	事業の周知に努め、安定したサービスを提供する。 利用世帯数：520世帯
	内容	・イベント等で啓発動画を再生し、周知啓発する。 ・啓発パネル等を作成し、QRコードを作成し、リンクを紹介する。	・各地区において不法投棄が多い場所を中心に環境指導員がパトロール(年間90回)を行い、廃棄物を捨てられない環境づくりに努める。 ・クリーン船橋530推進員や町会・自治会の協力を得て連携した取り組みを検討する。	・定期的な日常パトロールのほか、年末パトロールを実施する。 ・夜間・休日等のパトロールを警備会社に委託し、監視体制の充実を図る。	・委嘱2年目なので、振り返りを兼ねて5会場で24地区を網羅できるよう研修会を行う。 ・様々な媒体を活用しクリーン船橋530推進員の活動紹介等を行い、クリーン船橋530推進員自体の認知度向上を図り、「クリーン船橋530推進員活動の手引き」を基に活動内容やごみ減量・資源化に係るごみの適正な排出指導等の研修会を行う。	・ごみのない住み良い地域“環境にやさしい美しいまちづくり”の啓発のため、町会・自治会、市が一体となり、市内で一斉に美化活動を行う「クリーン船橋530の日」を開催する。 ・道端に散乱するごみを一掃し、船橋をきれいなまちにすると共にポイ捨て防止の啓発を図るため、町会・自治会・市民団体・企業、市等が一体となり、市内で一斉に美化活動を行う「船橋をきれいにする日」を開催する。 ・ポスターを作成し小学校、中学校に掲示依頼をして周知を図る。	・ふなR連携事業者とごみの減量・資源化に関するイベントを実施することなどにより、ふなR連携事業者認定制度の充実を図り、認定件数の増加を図る。	・令和6年度許可証交付式にて事業系一般廃棄物の分別・減量の促進を呼びかけると共に、受け入れ施設での注意事項等の内容の周知を図る。 ・各種団体が主催する研修や講習会の案内を行う。	・65歳以上の高齢者世帯(一人暮らし、または高齢者のみの世帯)、障害者のみの世帯などで粗大ごみの運び出しが困難な場合、環境指導員が屋内より持ち出し収集を行う。	自らごみ収集ステーションに日常のごみを出すことが困難であり、他の者からの協力を得られない高齢者等に対し、ごみの戸別収集を行う。
令和6年度	実績	・食品ロス削減フェアによる周知啓発の実施 ・授業補助による周知啓発の実施 ・啓発パネル等を作成し、QRコードを掲示して、YouTubeの食品ロス啓発動画を紹介することで、周知啓発の実施	クリーン推進課職員によるパトロール実施：90回	・職員による日常パトロール：245回 ・夜間休日等委託パトロール：50回	地区別推進員研修会：2回 ≪内訳≫ 市主催：0回 クリーン船橋530推進員主催：2回(湊町地区において6月と11月に実施)	・クリーン船橋530の日：5,273人 ・船橋をきれいにする日：6,069人	・ふなR連携事業者とのイベント実施 3件 ・令和6年度は新たに4件を認定して、計48事業所となった。 新規事業所の業種内訳 ・食料品小売業 2件 ・農業 1件 ・児童福祉事業 1件 合計 4件	・令和6年度の許可更新事業者27者に対し事業系一般廃棄物の分別・減量の呼びかけ等を実施。 ・全許可業者(28者)に対し交通安全等についてメールによる通知を3回実施した。 ・全許可業者に対し年1回の交通安全運転研修会の開催について通知した。	2,240件	・利用世帯数：492世帯(R7.3月末) ・事業の周知啓発の実施。
	内容	・食品ロス削減フェア(R6/10/27イオン船橋)にてYouTube動画を再生し、周知啓発した。 ・市内小中学校で実施した授業補助において、YouTube動画を使用して周知啓発した。 ・市公式HP上でYouTube動画の周知啓発した。	・各地区において不法投棄が多い場所を中心に環境指導員がパトロール(年間90回)を行い、廃棄物を捨てられない環境づくりに努めた。 ・クリーン船橋530推進員と連携しパトロールを実施した。	・定期的な日常パトロールのほか、年末パトロールを実施した。 ・夜間・休日等のパトロールを警備会社に委託し、監視体制の充実を図った。	・市主催のごみの減量・資源化等に係る、ごみの適正な排出指導等を説明するもので、「クリーン船橋530推進員 活動のてびき」を基に活動内容等について研修を行っている。 ・環境指導員がクリーンサポート収集や担当地区の業務におわれ、市主催の研修会を開催することができなかった。 ・「さんあーる」「リサちゃんだより」「エコふなばし」でクリーン船橋530推進員の活動を紹介し認知度向上を図った。	・クリーン船橋530の日では、市民や事業者等と連携し、清掃活動を実施した。 ・当初計画の参加人数には達しなかったが、多量のごみを回収したことから地域環境美化推進への効果があつた。 ・ポスター掲示依頼については小学校のみ実施した。	・ふなR連携事業者である昭和産業㈱、㈱ニチレイフーズ、㈱ファンケル、karen flowers、東武百貨店に協力頂き、工場見学やワークショップを行うなどごみの減量・資源化に関するイベントを実施した。 ・ふなR連携事業者とごみの減量・資源化に関するイベントを行うなど、市との連携を強化できることを認定制度のメリットとしてPRすることで認定件数が増加した。	・令和6年4月に開催した許可証交付式において、事業系一般廃棄物収集運搬業者に対し、ごみの分別、減量の促進について呼びかけるとともに、受入施設での注意事項等の内容を周知した。 ・全許可業者に対して安全運転や交通マナーの励行、火災等の事故発生時の対応についてメールにより通知した。 ・全許可業者に対して船橋警察署を講師とした交通安全運転研修会への参加を促した。	・クリーンサポート収集の対象となる、65歳以上の高齢者世帯(一人暮らし、または高齢者のみの世帯)、障害者のみの世帯で屋内から粗大ごみの持ち出し収集を行った。	・船橋市HP、家庭ごみの出し方、船橋市介護支援専門員協議会、船橋障害者相談支援事業所連絡協議会にて事業の周知を行った。
施策の評価 ※1～4を記入		1	1	1	4	3	2	2	1	1

評価	数値目標がある取り組み (数値達成率)	進捗状況
1	100%以上	1. 予定(計画) どおり進んでいる
2	80%以上100%未満	2. 概ね予定(計画) どおり進んでいる
3	60%以上80%未満	3. あまり予定(計画) どおり進んでいない
4	60%未満	4. 予定(計画) どおり進んでいない

船橋市一般廃棄物処理基本計画 行動計画【令和6年度実績】

資料1

施策番号 基本方針		20 1	21 2	22 2	23 2	24 2	25 2	26 2	27 2	28 2	29 2	30 2
施策		市民サービスの向上	発生抑制行動の推進	発生抑制行動の推進	家庭系ごみの分別の推進	家庭系ごみの分別の推進	家庭系ごみの分別の推進	事業系ごみの適正排出と分別の推進	事業系ごみの適正排出と分別の推進	事業系ごみの適正排出と分別の推進	事業系ごみの適正排出と分別の推進	廃棄物施設を利用した環境負荷の低減
取り組みの内容		粗大ごみ受付システムの検討	リデュース(発生抑制)行動の推奨	リユース(再使用)の推奨	ごみ組成調査の実施	資源化できる紙類の分別	新たな分別と資源化の検討	事業系一般廃棄物の適正排出及び分別指導の徹底	事業系一般廃棄物の適正排出及び分別指導の徹底	事業系一般廃棄物の適正排出及び分別指導の徹底	ビット前検査	廃棄物エネルギーの利活用の推進
具体策		インターネット受付の導入等	・詰め替え商品の推奨・マイバック、マイボトル運動・てまえどり	リユースショップの利用	ごみ組成調査の実施	資源化できる紙類の分別	新たな分別と資源化の検討	事業者に対する適正排出及び分別の推進 (大規模事業者)	事業者に対する適正排出及び分別の推進 (全事業者)	事業者に対する適正排出及び分別の推進 (食品関連事業者)	ビット前検査	廃棄物エネルギーの利活用の推進
担当課		クリーン推進課	資源循環課	資源循環課	資源循環課	資源循環課	資源循環課	廃棄物指導課	廃棄物指導課	廃棄物指導課	資源循環課	資源循環課
令和6年度	計画	粗大ごみ受付に係る市民利便性向上を図るため、令和7年4月からのインターネット受付導入を目指し、準備を進める。	・リサちゃんだよりプラスにて情報発信	・フリマアプリを活用したリユースについて情報発信 ・リサちゃんだよりプラスにて情報発信	・ごみ組成調査の実施2回(夏期・秋期)	・雑がみ保管袋の配布及び資源物とごみの分別ガイドの配布を行う。	・充電式電池の分別実施 ・使用済みコンタクトレンズ空ケースの回収	・事業用大規模建築物への立入:40件	・事業系一般廃棄物の適正処理や減量に関する周知	・食品営業許可新規講習会時の啓発:6回 ・食品衛生責任者実務講習会時の啓発:18回	ビット前検査 ・北部清掃工場:展開検査:40台 簡易検査:500台 ・南部清掃工場:展開検査:40台 簡易検査:500台	エネルギー回収 ・北部清掃工場:660kWh/t以上 ・南部清掃工場:690kWh/t以上
	内容	令和7年4月からインターネット受付・電子決済を導入するため、コールセンター運営準備とシステム構築を行う。	・リサちゃんだよりプラスに記事を掲載し、啓発を行う。	・ふなRで認定しているリユースショップやフリマアプリについて、関係各課と連携し、各媒体で情報の発信を行う。 ・リサちゃんだよりプラスに、リユースに関する記事を掲載する。	・家庭系一般廃棄物(10地区)を夏季・秋季に、事業系一般廃棄物(9事業所)を秋季に実施する。	・授業補助や出前講座等のイベントを実施した際に分別に対する啓発を実施する。 ・ごみ分別ガイドを配布し、啓発を行う。	・充電式電池の分別について、令和6年10月ごみ収集ステーションでの回収開始に向け、分別方法を市民に周知する。 ・コンタクトのアイシティを展開するHOYA㈱アイケアカンパニーと協定を締結し、市役所本庁舎1階にコンタクトレンズ空ケースの回収ボックスを設置する。	・3か年かけて市内の事業用大規模建築物に立入を実施する計画としており、令和6年度は40事業所を対象に実施し、廃棄物の適正処理について指導を行うとともに、減量・資源化の啓発を行う。	・関係各課や市内企業団体、商店会等に事業系一般廃棄物の適正処理や減量に関するパンフレットを周知するとともに、SNS等を用いた情報発信を行い、市内事業者に周知を行う。	・保健所が開催する食品衛生関係講習会にて事業系廃棄物の適正処理、減量及び資源化について啓発を行う。	・簡易検査による分別状況の確認及び展開検査を行う。	安定したごみの焼却処理を継続し、可能な限り廃棄物エネルギーの利活用を図る。
令和6年度	実績	令和7年4月からインターネット受付・電子決済を導入するため、コールセンター運営準備とシステム構築を進めた。	・リサちゃんだよりプラスに記事を掲載し、啓発を行った。	・ふなRで認定しているリユースショップやフリマアプリについて、主にHPで情報発信を行った。 ・リサちゃんだよりプラスにてリユースに関する情報発信を行った。	・家庭系可燃ごみ組成調査10地区2回実施(夏季・秋季) ・事業系可燃ごみ組成調査9事業所1回実施	・授業補助(小学校)を実施した15校に雑がみについての啓発を行った。	(小型充電式電池) ・令和6年10月より充電式電池分別収集を開始した。 ・充電式電池周知チラシ:49,000部 (コンタクトレンズ空ケース) ・令和6年5月～令和7年3月までの回収量:41.34kg	・令和6年度時点で事業用大規模建築物は126事業所あり、そのうち42事業所に立入検査を実施した。 立入検査先の内訳 ・事務所 20件 ・店舗 18件 ・官公庁 3件 ・興行所 1件 合計 42件	・事業系一般廃棄物の適正処理や減量に関するパンフレットを各1000部作成した。 ・作成したパンフレットを下記のとおり配布した。 商工会議所 250部 商工振興課 250部 保健所 250部 ベンチャープラザ船橋 30部 合計 780部	・食品営業許可新規講習会時の啓発:4回(全6回のうち2回は講習者0のため中止) ・食品衛生責任者実務講習会時の啓発:18回	ビット前検査 ・北部清掃工場:展開検査:40台 簡易検査:500台 ・南部清掃工場:展開検査:40台 簡易検査:500台	エネルギー回収 ・北部清掃工場:658.7kWh/t ・南部清掃工場:700.7kWh/t
	内容	インターネット受付を含む粗大ごみ受付業務委託の事業者を選定し、令和7年4月からのインターネット受付および粗大ごみ処理手数料のキャッシュレス決済の導入に向け、コールセンター運営準備とシステム構築の準備を進めた。	リサちゃんだよりプラス vol.23にてリデュースに関する記事の掲載を行った。 また、てまえどりに関する記事ついて、vol.22に掲載した。	・HP内にふなR認定事業者を紹介するページのリンクを関連ページに貼る等の工夫をし、情報発信に努めた。 ・リサちゃんだよりプラス vol.23にてリユースに関する記事の掲載を行った。	・家庭系および事業系可燃ごみについて、組成状況を調査した。	・雑がみについての紹介およびクイズを行い、周知啓発をした。 ・分別ガイド及び雑がみ保管袋を配布した。	・充電式電池分別収集の他、令和7年4月1日よりボタン電池の分別収集を開始する。これらは、SNS・広報等にて周知を行う他、令和7年度分別ガイド及び令和7年度家庭ごみの出し方に掲載を行った。	・事業用大規模建築物42事業所に対し立入検査を実施し、廃棄物の保管方法や処理委託契約書及びマニフェストの確認を行い、廃棄物の適正処理について指導を行った。 また、立入検査の際に事業系一般廃棄物の減量に関するパンフレットを渡し、コスト面や企業イメージ向上等のメリット、市内業者の廃棄物の分別・減量への取組事例を紹介することで啓発を行った。	事業系一般廃棄物の概要や処理方法、減量手法、減量によるメリット、市内事業者の好事例を記載したパンフレットを作成し、ホームページで発信するとともに、事業者に対して幅広く配布する必要があるため、関係各課や市内企業団体を通じて市内事業者にパンフレットを配布した。	令和6年度に保健所が開催した食品営業許可新規講習会及び食品衛生責任者実務講習会にて、事業系一般廃棄物の適正処理や減量に関するパンフレットを配布して啓発を行った。	・簡易検査による分別状況の確認及び展開検査を行い、不適物がある場合は口頭で指導を行った。	・安定したごみの焼却処理を継続し、可能な限り廃棄物エネルギーの利活用を図った。
施策の評価 ※1～4を記入		1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1

評価	数値目標がある取り組み (数値達成率)	進捗状況
1	100%以上	1. 予定(計画) どおり進んでいる
2	80%以上100%未満	2. 概ね予定(計画) どおり進んでいる
3	60%以上80%未満	3. あまり予定(計画) どおり進んでいない
4	60%未満	4. 予定(計画) どおり進んでいない

船橋市一般廃棄物処理基本計画 行動計画【令和6年度実績】

施策番号		31	32	33	34	35
基本方針		2	3	3	3	3
施策		食品ロスの削減推進	効率的で安定した収集運搬体制の構築	施設の適正な運営と維持管理の継続	施設の適正な運営と維持管理の継続	災害時における廃棄物処理体制の構築
取り組みの内容		食品ロス削減推進計画の取り組み推進	効率的で安定した収集運搬体制の構築	一般廃棄物処理施設の適正な運営	一般廃棄物処理施設維持管理	災害時における廃棄物処理体制の構築
具体策		家庭系・事業系食品ロスの削減に向けた取り組み	災害に備えた収集運搬シミュレーションなど	研修の実施など	各施設の中長期整備計画の策定	災害対応研修および訓練の実施など
担当課		資源循環課 廃棄物指導課	資源循環課	資源循環課	資源循環課	資源循環課 廃棄物指導課 クリーン推進課
令和6年度	計画	・食品ロス削減推進計画のとおり	・災害シミュレーションで抽出された課題の検討	・施設モニタリング研修の実施 北部清掃工場:1回 南部清掃工場:1回	・北部清掃工場:12回 ・南部清掃工場:12回	・基礎知識座学:1回 ・仮置場設置訓練:1回 ・し尿収集運搬訓練:1回
	内容	・食品ロス削減推進計画のとおり	・災害シミュレーションにて抽出された課題について、災害時にも安定的にごみの収集ができるよう対応策を関係各課と検討する。	・施設モニタリングに必要な知見を深め、職員間の技術伝承を図る。 モニタリング対象範囲 (1)搬入・搬出導線 (2)受付・計量棟 (3)灰積出スペース (4)受入供給 (5)焼却設備 (6)排ガス処理設備 (7)灰処理設備 などの運営事業者を管理する上での技術・事務的業務の継承が行えるように複数人の職員と現地確認を行う。	・長寿命化計画(保全計画)の進捗状況を運営定例会議にて確認する。	・災害廃棄物処理の基礎知識を身に付けるための座学を実施する。 ・災害廃棄物の仮置場設置訓練を開催する。 ・西浦処理場被災時のし尿収集について、想定訓練(下水道施設への投入シミュレーション)を行う。
令和6年度	実績	・食品ロス削減に向けた情報提供 ・ふなR連携事業者認定 ・フードドライブの実施 ・防災備蓄品の有効活用 ・事業者への指導 を食品ロス削減推進計画のとおり行った。	地理空間情報(GIS)システムを活用した「情報伝達訓練」(環境省)の受講(令和7年1月)	・施設モニタリング研修の実施 北部清掃工場:1回 南部清掃工場:1回	・北部清掃工場:12回 ・南部清掃工場:12回	・基礎知識座学:1回 ・仮置場設置訓練:1回 ・し尿収集運搬訓練:1回
	内容	・食品ロス削減に向けた情報提供 ・ふなR連携事業者認定 ・フードドライブの実施 ・防災備蓄品の有効活用 ・事業者への指導 を食品ロス削減推進計画のとおり行った。	災害時にも安定的にごみの収集できるようにするための対応策として、災害発生時における情報の収集・伝達を円滑化を実現するため、令和7年1月に地理空間情報(GIS)システムを活用した「情報伝達訓練」(環境省)を受講した。	・施設モニタリングに必要な知見を深め、職員間の技術伝承を図り、運営事業者を管理する上での技術・事務的業務の継承が行えるように複数人の職員で現地確認を行った。	・長寿命化計画(保全計画)の進捗状況を運営定例会議にて確認した。確認した内容は次期長寿命化計画のための参考資料とした。	・R6/10/1 基礎知識座学実施。災害廃棄物に関する他市事例等を学ぶ。 ・R6/10/12 仮置場設置訓練実施。シナリオに基づき仮置場を設置した。 ・R6/12/26、し尿収集運搬訓練実施。マンホールトイレ及び仮設トイレの設置及び収集した。
施策の評価 ※1～4を記入		1	3	1	1	1

評価	数値目標がある取り組み (数値達成率)	進捗状況
1	100%以上	1. 予定(計画) どおり進んでいる
2	80%以上100%未満	2. 概ね予定(計画) どおり進んでいる
3	60%以上80%未満	3. あまり予定(計画) どおり進んでいない
4	60%未満	4. 予定(計画) どおり進んでいない